

ホット・情報

平成30年10月31日



お 麻 績

秋の魅力が大集結!!

～第20回 月の里収穫祭が開催されました～



人口 2,760人(男 1,317人 女 1,443人) 世帯数 1,129戸(H30.10.1現在)

広報
No.140

2~14

議会だより
No.130

15~22

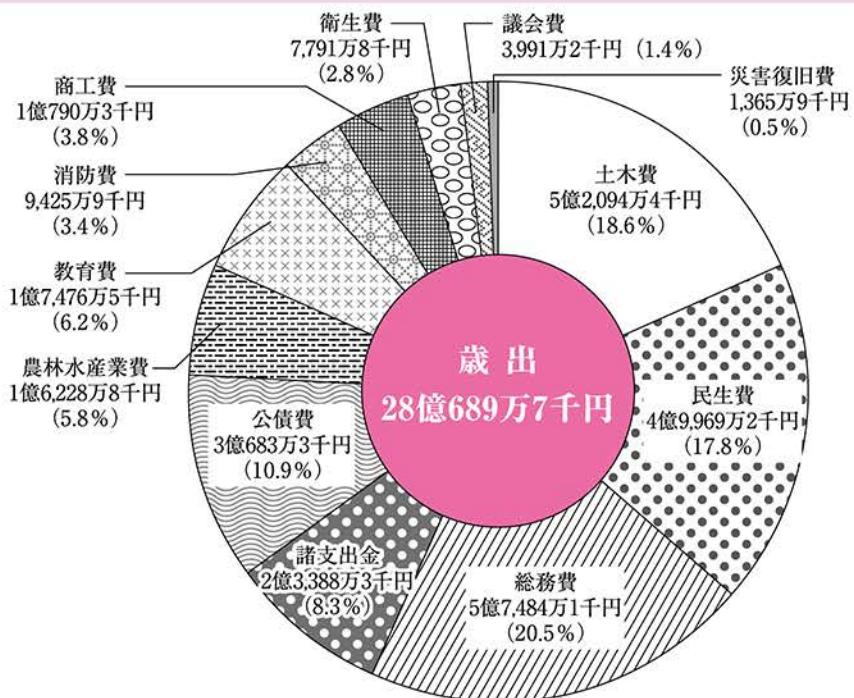
農業委員会だより
No.48

23~33

村のホームページアドレス



決算状況（事業紹介）



広報 麻績

No.140

発行 麻績村

編集 村づくり推進課

〒399-7701

長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地

電話 0263-67-3001

FAX 0263-67-3094

☆平成29年度決算状況……………2

☆麻績日記……………5

☆防災コラム……………8

☆健康と福祉のひろば……………9

☆各課からのお知らせ……………11

☆関係機関からのお知らせ……………13

【歳出用語解説】

議会費：議会活動に使われたお金

総務費：人事・企画・財政・交通安全などの事業に使われたお金

民生費：高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉の充実などに使われたお金

衛生費：病気予防のための各種検診や、ごみ処理などに使われたお金

農林水産業費：農林業の振興などに使われたお金

商工費：商工業や観光の振興などに使われたお金

土木費：道路、河川、住宅建設の整備などに使われたお金

消防費：災害や救急業務、消防団の運営業務などに使われたお金

教育費：学校、社会教育、歴史保存の充実などに使われたお金

公債費：事業を行うために借りたお金の返済に使われたお金

諸支出金：各種基金の積み立てなどに使われたお金

災害復旧費：自然災害によって被害を受けた施設等を直すために使われたお金



〔道路改良事業〕
(野口区)

消防車などの緊急車両が通行できるよう道路改良を進め、平成29年度は、女渕区、野口区、高畠野口線(矢倉区)、下井堀区の道路改良工事を行いました。



〔麻績神明社の改修〕
(改修後の舞台)

平成24年12月より始まった、本殿ほか4棟の建造物の保存修理が完了しました。

〔新たな生ごみ処理の実施〕

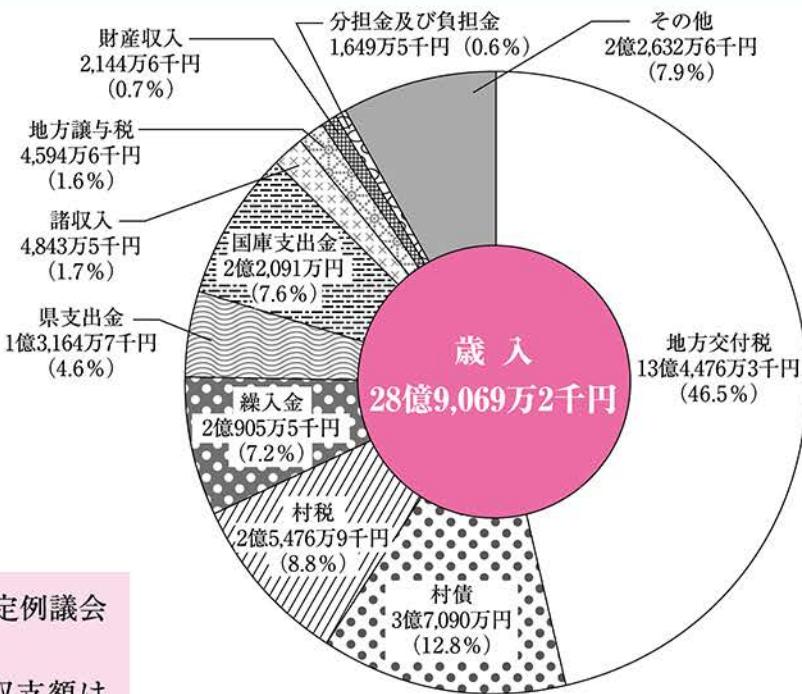
菌分解による生ごみ処理方法(HDMシステム)へ移行し、可燃ごみの減量化を進めています。

平成29年度

一般会計

(単位：千円)

歳入	28億9,069万2千円 (前年比 0.01% 減)
歳出	28億 689万7千円 (前年比 1.3% 増)
翌年度へ繰り越すべき財源	1,061万円
実質収支	7,318万5千円



平成29年度決算がまとまり、9月の定例議会で9会計の決算が認定されました。

一般会計の黒字(赤字)を示す実質収支額は7,318万5千円余りの黒字となりました。

今後も歳出の見直しなどに取り組み、引き続き財政の健全化に努めています。

●特別会計決算の状況

単位:千円

会計名	歳入	歳出	差引額
國民健康保険	472,992	417,836	55,156
聖高原別荘地地上権分譲事業	604	43	561
住宅団地分譲事業	9,147	0	9,147
下水道事業	239,250	233,738	5,512
水道事業	153,878	149,189	4,689
介護保険	476,905	447,531	29,374
後期高齢者医療	45,006	44,665	341
観光事業	53,579	53,009	570

●基金残高の状況(平成29年度末)

単位:千円

財政調整基金	742,602	村営バス事業基金	10,009
農業構造改善事業基金	223,003	福祉基金	132,120
土地開発基金	145,569	水道事業基金	187,134
減債基金	126,575	観光事業振興基金	244,252
地域振興基金	53,011	教育施設整備事業基金	65,272
高等学校生徒奨学金基金	1,882	環境衛生事業基金	147,506
下水道施設整備基金	309,757	介護保険支払準備基金	6,094
国民健康保険支払準備基金	25,004	情報通信施設整備基金	121,319
		合 計	2,541,109

〔福祉医療費の助成〕

福祉医療費給付事業（乳幼児等区分）の対象を18歳まで引き上げました。

【歳入用語解説】

村 税：村民税、固定資産税、市町村たばこ税、軽自動車税などのお金

地方交付税：村の財政力に応じて国から交付されるお金

国庫(県)支出金：事業に対して国(県)から交付されるお金

繰 入 金：基金などの積み立て金を取り崩し、その使途に応じて繰り入れるお金

諸 収 入：他の事業科目に含まれない収入を包括したお金

村 債：村の自主財源だけでは実施が困難な事業をする時に借りるお金



〔麻績村ゆりの木公園テレワークセンター完成〕

地方創生交付金を活用し、公民館機能に加え企業誘致と起業支援を目的としたテレワークセンターが完成しました。

大規模災害発生時の避難施設としても使えるよう耐震化等の安全化対策を行いました。

麻績村の財政状況について ~健全な財政状況を維持~

①麻績村の財政は黒字？

地方財政の黒字または赤字は、「実質収支」という指標によって示されます。

平成29年度決算の「実質収支」は7,318万5千円であり、**麻績村の財政は黒字**ということになります。

実質収支(7,318万5千円) = 嶸入総額(28億9,069万2千円) - 嶌出総額(28億689万7千円)

- 翌年度に繰越すべき財源(1,061万円)

②借金はどれくらい？

家庭における借金は、地方財政では「地方債」が該当します。

道路など公共施設の整備には多額のお金が必要となります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の仕事ができなくなるため、地方債を活用して年度間の負担調整を図っています。

また、公共施設などは将来の世代も利用するものであるため、地方債には世代間の負担を公平にする役割もあります。

麻績村における、平成29年度末の地方債残高は25億111万4千円となっています。

③借金返済の負担状況はどうなの？

家庭において、家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなどの借金返済額が、収入に占める割合として大きくなればなるほど家計は苦しくなります。

地方財政では、「実質公債費比率」という指標によって、収入に対する借金返済額の割合が示されます。借金返済の負担が多すぎないかをチェックする指標です。25%を超えると要注意状態、35%を超えると自動的に財政を立て直せない状態とされています。

平成29年度決算の「実質公債費比率」は5.8%で、基準値を超えることはありませんでした。

今後もこの状態を維持できるよう、より一層、健全な財政運営に努めていきます。

●平成29年度決算に基づく麻績村の健全化判断比率

健全化判断指標		麻績村の数値	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	村の会計における実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標です。	赤字はありません	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	村の全会計の合計の実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標です。	赤字はありません	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	村の通常的な収入に対して、一般会計などが負担する公債費及びこれに準ずる経費の大きさを示す指標です。	5.8 %	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	村の通常的な収入に対して、将来負担しなければならない借金などの大きさを示す指標です。	数値は算出されません (※現在村の抱える将来的な負担は、基金や交付税などの充当可能財源で全てまかなうことが出来ます。)	350.0 %	
資金不足比率	村の公営企業会計における事業規模に対する資金の不足額の割合を示す指標です。	資金不足はありません	経営健全化基準 20.0 %	

麻績日記

ゼロエミッション体験会



ライントレースカーを組み立てる

村観光協会では、村の観光PRと次世代エネルギーを考えるイベントとして、「夏休み親子工作教室」と「ソーラー充電バイクポイントツアー」を開催しました。

7月28日に開催した夏休み親子教室は、松本工業高校の生徒を講師に迎え、11組の親子がライントレースカーを製作し、物づくりの喜びを学ぶ機会や講師と参加者との交流の場作りのイベントになりました。

また、8月26日は県内外から7チームが参加し、ソーラーバイクや電動アシスト自転車に乗って村内の名所を周遊し、排気ガスが出ないゼロエミッションのイベントを村内外へPRしました。

この2つのイベントは、長野県地域発元気づくり支援金を活用して開催しました。



ポイントツアーへ出発!

第29回サマーナイトフェスティバル



火点へ向け放水!

第29回サマーナイトフェスティバルが、8月4日、役場駐車場特設会場で開催されました。

今年も飲食・体験型ブースに加え、ステージでは「麻績小学校金管バンド」「聖太鼓子供連」が会場を盛り上げました。同時開催の麻績村消防団・ミニ防災フェアでは、災害時後方支援用の特別車両「支援車Ⅰ型」の展示や消防服を着て放水体験、ちびっこ消防団の発足式が行われました。



フィナーレの大抽選会

麻績村産りんごで醸造したワイン・シードル試飲会



NPO法人おみごとの主催による、麻績村産りんごで醸造したワイン・シードル試飲会が、8月25日、シェーンガルテンおみで開催されました。

この試飲会は「長野県地域発元気づくり支援金」を活用した事業で、昨年収穫された麻績村産のりんごにより醸造されたワインやシードルが村内外の皆さまにお披露目されました。

試飲会では、ワイン・シードルの醸造元である伊那ワイン工房の村田さんより「りんごワイン・シードルについて」の講演も行われ、参加者の皆さまは熱心にりんごワインやシードルの特徴などの説明を受けていました。

ワインはしっかりとした味わいの辛口と飲みやすい甘口、シードルはカッチリとした味わいの辛口が用意され、参加者の皆さまはそれぞれを飲み比べていました。

試飲会中や終了後には、製品についての様々な意見やアイデアが寄せられており、より良い製品として、新たな特産品となるよう、村でサポートしていきます。



3種類の味を飲み比べ

ふくしのつどい



ふくしのつどい実行委員会の主催による、ふくしのつどいが8月26日、麻績村デイサービスセンターみづきで開催されました。

今年も村内で地域の活動をしている団体などにより、日頃の活動内容を紹介するステージ発表やスタンプラリー、福祉団体によるバザーなどが行われました。

また、会場では村社会福祉協議会の会長表彰が行われ、根尾区の藤原正代さんが高齢者等介護善行功労者として表彰されました。

今年多くの村民の皆さまが参加し、福祉に対する意識を高める機会となりました。



会場の皆さまで手遊び体操

麻績村防災訓練



避難時のマニュアルを確認

役場、保育園、小学校、福祉企業センター、消防団などの関係者約200名の参加により、8月29日、避難訓練が行われました。

今回の訓練は、地震災害からの火災を想定し避難をしました。指定された避難場所では、地震災害に関する映像と併せて、麻績消防署長から災害発生時の対応等を学びました。

災害における正しい行動の知識が習得でき、防災意識の向上につながりました。

信州大学医学部・麻績村 地域連携事業講演会



信州大学医学部と村の地域連携事業の一環として、認知症をテーマとした講演会を8月29日、村地域交流センターで開催しました。

今回は、「認知症にやさしい村を考える」を演題に、信州大学医学部保健学科の上村智子教授の講演が行われ、自分らしく安心して暮らす方法や、認知症になっても日常生活を自分で続ける工夫などを詳しく話していただきました。

連携協定が締結されてから、村民の皆さまを対象とした事業は今回が初めてとなりましたが、今後も講演会などを開催する予定としていますので、皆さまお気軽にご参加ください。



認知症への知識を身に着ける参加者

第2回東京ヒルクライム信州OMIステージ



三和峠を駆け上る

自転車のヒルクライムレースが9月2日に開催されました。

法善寺下の信濃観月苑駐車場をスタートし、標高1,200mにある三和峠までのタイムを競いました。

県内外から61名の参加があり、標高差約600m、区間距離8kmのコースを57名の方が制限時間1時間以内に完走されました。村内からも2名が参加し見事完走されました。

ふるさと全国県人会まつり2018

く村
りづ

観
光

「ふるさと全国県人会まつり2018」が9月8日、9日に名古屋市の久屋大通り公園で開催され、2日間で約22万4千人が来場されました。

村では、聖太鼓保存会の皆さまのご協力のもと、ステージ発表やブース出展を行いました。

ステージ発表では、村の紹介と併せ、聖太鼓の演奏を披露し、大勢の来場者が勇壮で迫力のある見事な演奏に驚かれていました。

ブース出展では、地酒「麻績郷」、とうもろこし、そば、りんごシロップを使ったかき氷などを販売し、夏の終わりではありましたがあれ、冷たいそばやかき氷の売れ行きは良く、2日目の早い時間には全て完売と大盛況でした。また、麻績郷は「すっきりとして飲みやすい」などのお褒めの言葉を多数いただき、改めて自信が持てる特産品だと実感しました。

聖太鼓保存会の皆さまや、名古屋長野県人会の皆さまには、夏の暑さが残るなか、ご協力いただき大変ありがとうございました。



大迫力の演奏

麻績村民生児童委員協議会が優良単位民生児童委員協議会として表彰

住
民



表彰された民生児童委員の皆さま

麻績村民生児童委員協議会の日頃の活動が、9月12日、塩尻市で開催された「第67回長野県社会福祉大会」で、優良単位民生児童委員協議会として長野県民生委員児童委員協議会連合会長から表彰されました。

村の民生児童委員は、身近な相談相手、見守り役として地域の安全・安心を支えています。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

避難所運営ゲーム「HUG」

村の民生児童委員の定例会が、10月9日に行われ、防災啓発プログラムの一環として、避難所運営ゲームを実施しました。

避難所運営ゲームとは、避難所運営の一員として、避難者の受け入れから部屋割り、生活空間の確保、ペット対応などをカードを使用し模擬体験するゲームです。

民生児童委員や議員の皆さまが参加し、災害時、緊急時の避難所運営を模擬体験し、配慮が必要な方には、どのように対応したら良いのかなどを考えました。



避難所での配慮を考える

第20回月の里収穫祭

振
興



会場に登場した両キャラクター
(左)長野県PRキャラクター「アルクマ」
(右)長野県地産地消推進キャラクター「旬ちゃん」

村内の秋の魅力が結集した第20回月の里収穫祭が、10月14日、シェンガルテンおみ特設会場で開催されました。

今年も大テント村では、地元団体協力によるおいしい食べ物や体験ブースでにぎわいました。ステージでは、聖太鼓子供連や東海吹奏楽コンクールにも出場した筑北中学校吹奏楽部の演奏、アドバルーン富くじ、「農」にちなんだ参加型の万年豊作ゲーム、アンパンマンショー、大抽選会などが繰り広げられました。また、会場には長野県PRキャラクター「アルクマ」や長野県地産地消推進キャラクター「旬ちゃん」が登場し、会場を盛り上げました。

第7回防災コラム～防災情報を正しく理解する～

災害時には、様々な情報が市町村や気象庁等から発令されます。自分の身を守るためにには、その情報が何を意味しているのか正しく理解し、適切な行動をとることがとても重要です。命を守るために情報や行動を再確認しましょう。

避難情報(市町村発令)

危
険
度
高
↓

避難準備・高齢者等避難開始

高齢者、障がいのある方、乳幼児とその支援者は避難を開始しましょう！

避 難 励 告

速やかに避難をしましょう！

避 難 指 示 (緊急)

危険が差し迫っています。直ちに避難をしましょう！

防災気象情報(気象庁発令)

危
険
度
高
↓

注 意 報

土砂災害や浸水害が発生するおそれがあります。

警 報

重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあります。

特 別 警 報

数十年に一度の大雨となるおそれがあり、危険性が非常に高くなっています。



大雨による法面の崩壊
(桑園区)

土砂災害警戒情報

大雨警報の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となった際に、警戒を呼び掛ける情報です。都道府県と気象庁が共同で発表します。

この情報が出たら特に注意が必要です。

災害時には常に最新の情報を入手するよう心掛け、自らの避難行動に活かしましょう。

また、避難情報が出ていなくても危険を感じたら自分の判断で避難をしましょう。

義捐金へのお礼と報告

多くの皆さまよりご支援いただいております義捐金につきましては、現在のところ550万円余りが寄せられました。今後も多くの皆さまのご支援をお願いします。

なお、各種義捐金の集計は以下のとおりです。

義捐金名称	募集期間	金額	備考
東日本大震災義捐金	H23.3.14～H26.3.31	3,634,997円	
平成26年広島県大雨災害義捐金	H26.8.22～H26.12.26	16,492円	
長野県神城断層地震災害義捐金	H26.11.27～H27.9.30	37,080円	
平成27年台風第18号等大雨災害義捐金	H27.9.11～H27.12.31	212,750円	
平成28年熊本地震災害義捐金	H28.4.15～H31.3.31	1,436,345円	実施中
平成28年新潟県糸魚川大規模火災義捐金	H28.12.26～H29.6.30	2,347円	
平成29年7月5日からの大雨災害義捐金	H29.7.7～H30.9.28	48,745円	
平成30年大阪府北部地震災害義捐金	H30.6.22～H30.9.28	21,669円	
平成30年7月豪雨災害義捐金	H30.7.10～H30.12.31	98,511円	実施中
平成30年北海道胆振東部地震災害義捐金	H30.9.11～H31.3.31	未集計	実施中
合 計		5,508,936円	

健康と福祉のひろば

医療・介護の連携手帳「いきいき手帳」

ご本人・ご家族と医療・介護の関係者が体調や生活状況に関する情報を共有するための「いきいき手帳」を配布しています。



○目的・内容

ご本人やご家族が体調や生活の状態を自己管理するとともに医療・介護の関係者等がその情報を共有することで、症状の変化に早く気づき、地域で安心して暮らしていくよう、筑北地域在宅医療・介護推進会議で関係団体から提案・編集のもと、「いきいき手帳」を作成し、役場地域包括支援センターにて配布しています。

○利用方法

手帳配付の対象者は、要支援・要介護認定を受け、自宅で生活している方やそのご家族などです。

手帳の利用を希望される方は、担当のケアマネジャー、または役場地域包括支援センターにご相談ください。ご本人またはご家族の利用同意を確認後、配付します。手帳は無料です。

インフルエンザ定期予防接種（補助）



村では「65歳以上の方を対象としたインフルエンザ定期予防接種」を行います。接種を希望される方には接種料金の補助があります。

65歳以上の方を対象

対象者	・接種日に麻績村に住所があり、65歳以上の方 ・60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫ウイルスの疾病により身体障害者手帳1級を有する方
助成期間	平成30年11月1日から平成31年1月31日まで
自己負担額	2,100円(医療機関窓口でお支払いください) ※接種できなかった場合は問診料等920円が自己負担になります

実施医療機関

1. 筑北地域の医療機関

◆玉井医院(☎0263-67-2231) ◆鳥羽医院(☎0263-66-2435) ◆松林医院(☎0263-66-2008)

2. 県内の筑北地域以外のかかりつけ医療機関

3. 入院中・入所中の医療機関

(筑北地域以外の医療機関で予防接種を受けられる方は、事前に役場まで予診票等、受診に必要な書類を取りにお越しください。)

※接種する場合は予約が必要です。詳しくは各家庭に配布された通知、もしくは役場住民課保健師までお問い合わせください。

松本圏域障害者就業・生活支援センターらいと 移動相談会

「遠くてなかなか松本まで相談にいけない」という方のために、『松本圏域障害者就業・生活支援センターらいと移動相談会』を開催します。

お困りの内容に応じて、適切な相談先や就労支援などの情報提供をします。

○対象者 麻績村／生坂村／筑北村にお住まいの

- ・就職を希望している、または仕事先で困っていることがある障がいのある方やご家族
- ・障がいのある方の雇用を検討している、またはすでに雇用されている企業の方

○日 時 平成30年11月15日(木) 午後1時30分から3時30分

○会 場 麻績村役場 2階会議室

※職業の紹介及びあっせんを行うことはできません。ご了承ください。

産後ケア事業開始

～平成30年10月1日から～

○目的・内容

出産後に授乳がうまくいかない、育児を手伝ってくれる人がいない、お母さんの体の回復に心配があるなど、育児のサポートが必要な方が、病院や助産所で宿泊しながら授乳指導や育児指導等を受ける事業です。村が利用料の一部を負担します。



○利用できる方

お母さん、またはお子さんが退院した日から120日以内で村内に住民票があり、以下のいずれかに該当すると医師や助産師が認めた方です。

- ・産後の体の回復に不安のある方
- ・育児に不安のある方・育児を手伝ってくれる方がいない方
- ・休養や栄養管理など、生活面で相談を必要とする方

○利用できる施設

施設名	所在地	電話番号	備考
穂高病院	安曇野市穂高4634	0263-82-2474	穂高病院で分娩した方で分娩からの後継者のみ
助産院おりん	北安曇郡池田町池田3314-1	090-9857-5538	
丸の内病院	松本市渚1丁目7番45号	0263-28-3003	
横西産婦人科	松本市大字島立2992-1	0263-31-5760	・横西産婦人科で出産した方を優先、他院での出産の方は事前に相談 ・利用可能期間は30日以内

※利用できる日数は原則6泊7日以内です。

○利用料

個人で負担していただく金額は、利用料の2割で、残りの8割は村が負担します。※利用料は各施設で異なりますので、詳しくは、保健センター、または利用予定施設へお問い合わせください。

○利用方法

上記の利用したい施設にご相談の上、保健センターに申請書を提出してください。申請書類が必要な方は、事前に保健センターへお越しください。

精神保健相談

うつや引きこもり(不登校を含む)、認知症やアルツハイマーなどに関する内容について、精神科医師が相談にあたります。

相談には予約が必要です。相談日の3日前までに、住民課保健師までお申し込みください。

また、ご自宅への医師の訪問や相談希望者の保健センターまでの送迎、相談場所等は可能な範囲で対応しますので、お申し込みの際にご相談ください。

○年間日程 平成30年11月29日(木)、平成31年2月27日(水)

日程は医師の都合で変更があります。その際は防災行政無線でお知らせします。

○相談時間 午後1時30分から4時30分まで

○会場 保健センター

大腸がん検診未使用容器の回収

今年度、大腸がん検診を希望され、受診ができなった方は、未開封のものに限り容器を回収し、容器代の返金をします。役場住民課までお持ちください。

○未使用容器返却期限 平成30年11月9日(金)まで

○受付時間 午前8時45分から午後5時15分まで

※期限以降の返金はできませんのでご注意ください。



各課からのお知らせ

実りの秋を迎えていきます



実りの秋を迎えて、NPO法人おみごとで活動する農業研修生たちも農作物の収穫に追われています。

法人としての活動も3年目を迎えており、扱う農地も拡大しています。

その栽培面積は平成28年の2.6haから平成30年は5.1haと2倍近くなり、特にりんごは平成28年と比較すると3倍以上の面積です。

また、栽培する酒米は、平成30年から品種を従来の「美山錦」から「金紋錦」とし、付加価値の高い作物の栽培に取り組むなど新たな取り組みも行われています。

法人の活動も安定してきた中で、今後も村の農業を持続可能なものとしていくための活動に取り組みます。

ふるさと麻績村応援寄附金(ふるさと納税)の返礼品を募集しています



ふるさと納税制度とは、生まれ育ったふるさとや思い入れのある地に寄附を行うことでふるさとを応援する制度です。

村では、「ふるさと麻績村応援寄附金」の名称で、寄附の推進を図るとともに村の魅力や地元特産品のPRを目的として返礼品をお贈りしています。

現在の返礼品は牛肉・りんご・はぜかけ米・おやき・そばなど計7品目です。この返礼品数は他の市町村と比べ多くはありません。ふるさと納税制度を通じ、村の魅力や特産品を全国各地へ発信するため、新たな返礼品を募集します。

村民の皆さんの中で返礼品としてこれを扱ってみてはどうか等のご提案がありましたら、役場村づくり推進課までご連絡ください。

インターネットからの申し込み「ふるさとチョイス」で掲載が始まりました

以前は、紙の申出書や(株)楽天のサイトの2種類で寄附を受け付けていましたが、それらに加え、「ふるさとチョイス」(株)トラストバンクのサイトからも、寄附の受け付けができるようになりました。

窓口を拡大するとともに、更なるふるさと納税の推進を目指し、村の魅力や特産品を発信していきます。

森林づくり推進支援金の活用



長野県の森林づくり推進支援金事業(森林税事業)を活用して、道路沿いの松くい虫被害木を伐倒駆除します。秋に被害木を駆除することで、来春の松くい虫被害の拡散防止と倒木等の事故防止を目的として実施します。

急を要する措置のため、事前の了解を得ずに防除処理(山への立入、伐倒、燐蒸等)をさせていただきますが、ご理解とご協力をお願いします。



伐倒後の燐蒸処理

聖湖周辺の景観整備



聖湖畔にある廃ホテルの解体撤去工事請負契約が9月定例議会で議決されました。

契約額は5,760万円、工期は平成31年2月末を予定しています。

工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



解体作業中の廃ホテル

おみ光のページェント



村観光協会では、長野県地域発元氣づくり支援金と、新たに「松本大学地域づくり考房ゆめ」の地域連携事業を活用し、シェーンガルテンおみのイルミネーション装飾を行います。

点灯期間は12月から2月で、期間中にフォトコンテストなどの開催を予定しています。



遠山望・今井千波デュオリサイタル



信濃観月苑では、平成30年11月11日(日)にサクソフォン奏者の遠山望氏とピアノ奏者の今井千波氏を招き、遠山望・今井千波デュオリサイタルを月の館大寄せの間で開催します。

時間は午後2時から、参加費は1,500円です。

お問い合わせ先 信濃観月苑 ☎0263-67-3933

教育委員に市川祥介氏

～専決処分により選任～

9月定例議会において不同意となった教育委員の同意案件について、地方自治法第179条により9月30日付専決処分(*)で、市川祥介氏(下田)が再任されました。

現在村では、筑北村が学校組合を離脱することから、筑北中学校を平成32年4月、新たに麻績村立中学校として開校する予定です。また、現在も様々な連携が行われている保育園・小学校・中学校の関係をさらに見直し、村独自の一貫教育の推進に向けて協議や検討・研究が行われております。加えて、32年度からは学校の教育課程を編成する際の基準となる「学習指導要領」が改訂されることとなっており、英語教育やプログラミング教育の導入など、新たな学校教育への対応とその具現化が急務となっております。

そのような中、市川氏の豊富な経験や高度な識見、幅広い人脈が欠かせないものとして、この度の選任案を提出いたしました。

村の教育委員は4名で、その構成は、学校教育精通者・PTA保護者・生涯学習精通者・一般的な幅広い識見をお持ちの方それぞれから1名が選任されており、当面の重要な事務事業を適切に進めるには、学校教育精通者の選任は欠かせないものとなっております。

10月1日からの教育委員欠員という異常事態を避けるため、定例議会閉会後も適任者の人選にあたって参りましたが、学校教育に精通した者として教育委員をお引受け頂ける方はおりませんでした。

こうしたことから、改めて市川氏にお願いをして参りましたが、9月30日にお引受け頂けることになりましたので、議会を開催する日程的猶予が無い中、「委員が欠員」という異常事態と「教育行政の停滞・混乱」から生ずる「村民の不利益」を避けたいという思いから、「市川氏の再任」を『長の専決処分』をもって行いました。

人事案件の専決処分についてはご批判もあるうかと存じますが、止むを得ない事情であったことをご理解願います。

教育行政に携わる多くの皆さんに、更に村民の皆さん、関係機関の皆さんにもご心配をお掛けいたしましたことにお詫びを申し上げます。

今後も引き続き教育行政の更なる充実に向けて、関係者一丸となって取り組んで参りますので一層のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

*「専決処分」

議会で議決を得るべき議案であっても、緊急を要するためや議会を開くことが出来ない場合などにおいて、その執行権を地方公共団体の長(村長)が持つ制度。

関係機関からの お知らせ

長野県の最低賃金は 821円

長野県の最低賃金は、平成30年10月1日から時間額821円（旧795円）に改定されました。

個人事業税の後期分は
11月30日（金）までに

個人で事業を行っている皆さま、個人事業税の後期分の納期限は11月30日（金）です。忘れずに納期限までに納めましょう。

お問い合わせ先

中信県税事務所課税課課税第一係
☎ 0263-40-1908

借入の返済にお困りの方
ご相談ください

長野財務事務所では、ローンやクレジットの返済にお悩みの方からの相談を受け付けています。必要に応じて法律の専門家を紹介します。相談は無料で、匿名でも構いません。まずは、ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

財務省関東財務局長野財務事務所
「多重債務相談窓口」
☎ 026-234-2970

介護休業制度を ご存知でしょか

家族の介護を行いつつ、労働者の仕事や生活との両立を支援するための介護休業制度。就業規則になくては取得できます。

- ・対象家族1人につき、通算93日、3回まで取得可能。
- ・通院、デイケアなどへの送り迎えに利用できる介護休暇は年間5回まで取得可能。

お問い合わせ先

長野労働局雇用環境・均等室
☎ 026-2227-0125

雇用のトラブル
「あっせん」で解決を

長野県労働委員会では、労働問題の専門家が中立、公正な立場で、労働者個人と事業主との雇用のトラブル（解雇、賃金、パワハラ等）について、「あっせん」により円満な解決をお手伝いしています。

手続きは、簡単・無料で、懇切丁寧にお話を伺います。また秘密は厳守します。

お問い合わせ先

長野県労働委員会事務局
☎ 026-235-7468

または、最寄りの県労政事務所まで

長野県長野技術専門校 平成31年度入校生募集

訓練期間

1年間（平成31年4月入校、翌年3月終了）

募集科

機械加工科、電気工事科、
画像処理印刷科、木造建築科

応募資格

高等学校卒業（または同等）

必要経費

入校審査料（受験料）2千2百円
入校料（入学金）5千6百5十円
授業料（年額）11万8千8百円
教材費、作業服代等の経費は、年間10数万程度

一般入校選考

願書受付期間

平成30年11月5日（月）から

11月21日（水）

選考日

平成30年12月3日（月）

お問い合わせ先

長野技術専門校
☎ 026-292-2341

または、最寄りの公共職業安定所まで

秋の火災予防運動が実施されます

11月9日(金)から11月15日(木)まで、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防の意識を高め、大切な人や財産を失わないように、日頃から注意しましょう。

全国統一防火標語
忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

- 住宅用火災警報器 10年たったら、とりカエル。ご自宅の火災警報器の話です。

**住宅用火災警報器は、
⑩年を目安に交換を
おすすめします！**

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。



定期的に作動確認し、音を聞きました!

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認します。

- 定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

正常な場合は？

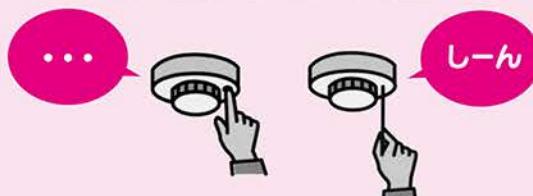
正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。



注) 警報音はメーカー・製品により異なります。

音が鳴らない場合は?

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。

ご注意ください

- 火災報知器の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に附属している取扱説明書を必ずご覧ください。
 - お手入れや作動確認は、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。
 - 捨てる際は、木本と電池を別にして捨てましょう。お住まいの各自治体が定める条例に従って廃棄してください。

お問い合わせ先 麻績消防署 ☎0263-67-2992

年金相談・お手続きの際は、ぜひご予約を

日本年金機構の全国の年金事務所では、年金相談や年金の請求手続きの「事前予約」を行っています。お待たせ時間の少ない「予約相談」をぜひご利用ください。

◆予約相談希望日1ヶ月前から受付しています。

◆お申込みの際は、基礎年金支払の分かるもの（年金手帳や年金証書など）をご用意ください。

ご予約方法は、予約専用受付は電話または松本年金事務所へお申し込みください。

お問い合わせ先 予約専用受付 ☎0570-05-4890
松本年金事務所 ☎0263-32-5821

決算審査の意見書

(平成29年度麻績村各会計決算及び基金運用状況等審査意見書)

★地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された平成29年度麻績村一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに各特別会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、各関係帳簿、証書類並びに同法第241条第5項の規定による各種基金の運用状況を示す書類について審査した結果次のとおりである。

1 経営管理

ア 予算の執行は、効果調書の内容を精査したところ、概ね効率よく、また適確に行われており、伝票、証書類も整備されていると認めた。

イ 公会計制度実施に向け、地方公共団体等において統一的な基準による財務書類の作成に取り組んでいるが、資産・債務管理や費用管理など財政状態を適

正に分析し、将来にわたり健全な財政管理が維持されるよう尽力されたい。

ウ 別荘地貸付収入の滞納額及び不納欠損額が多額で推移しておりこの傾向は今後も続くものと思われる。また村所有の別荘地が大きく増加している。これらの現状から、今後について検討する必要がある。

エ 若者定住促進住宅は昨年度までに本町地区に24棟建設、平成29年度は新たに2棟建設され26棟となり、地域コミュニティーも確立されている。天王地区分と合わせると39棟となつた。このことにより、人口社会増に寄与している。今後も建設が予定されているので若者の定住が一層進むことを期待する。

オ 地方創生事業の連事業に取り組んでいますが、農業研修を軸とした「NPO法人おみごと」など地域農業を

元気にする成果も出でた。テレワーク拠点整備事業についても施設が完成し、今後の成果に期待する。

力 第6次麻績村振興計画の前期基本計画が平成29年度で終了した基本構想・将来像「明るい未来につながる『元気な麻績村』」を目指して推進してきたが、今後の後期基本計画実現に向けて引き続き着実に推進されることを望む

2 国民健康保険 特別会計

形式収支は55,156千円、単年度収支18,529千円、実質単年度収支は28,529千円となつた。

歳入決算状況は調定額475,356千円に対し収入済額472,992千円で収納率は99.5%である。

歳入の主たるものは国民健康保険税66,424千円（構成比14.0%）、国庫支出金9,304千円（構成

比20・8%）、前期高齢者交付金123,773千円（構成比26・2%）、共同事業交付金9,5892千円（構成比20・3%）となつた。一般会計からの繰入金は26,878千円で、前年度より324千円の増になつてゐる。歳出の主たるものには、保険給付費268,328千円（構成比64・2%）共同事業拠出金84,237千円（構成比20・2%）となつてゐる。

4 住宅団地分譲事業 特別会計

昨年と同様、販売件数はなく歳入は繰越金のみである。平成25年度に1区画となりその後動きがないので、その後の有効な取り扱いを検討する必要がある。

5 下水道事業 特別会計

歳入は、使用料及び手数料43,970千円（構成比18・4%）、前年度対比791千円増、一般会計繰入金9,955千円（構成比41・8%）前年度対比12,545千円の増となつた。

歳出は、公債費が8,530千円（構成比37・9%）、前年度対比351千円の増、また建設改良費が94,869千円（構成比40・6%）前年度対比66,99千円の増で主に麻績アクアセンター固定式脱水機設置工事、耐震補強工事である。

1 経営管理

による各種基金の運用状況を示す書類について審査した結果次のとおりである。

実質取支に関する調書、財産に関する調書、各関係帳簿、証書類並びに同法第2

般会計及び各特別会
計歳入歳出決算及び
それぞれの歳入歳出
決算事項別明細書、

★地方自治法第233条

2 国民健康保険

特別会計

推進してきたが、今後の後期基本計画実現に向けて引き続き着実に推進されることを望む

平成29年度で終了した
基本構想・将来像「明る
い未来につながる 元
気な麻績村」を目指し

整備事業は、
設が完成し、今後の成
果に期待する。

元気にする成果も出てきた。テレワーク拠点

3 聖高原別荘地地上権

国民健康保険支払準備基金は、10,000千円の積立を行い25,004千円となつた。

28千円（構成比6.2%）共同事業拠出金84,237千円（構成比20.2%）となつてゐる。

で、前年度より324
千円の増になっている
歳出の主たるものは、
保険給付費268,3

5 下水道事業

昨年と同様、販売件数はなく歳入は繰越金のみである。平成25年度に1区画となりその後動きがないので、その有効な取り扱いを検討する必要がある。

4 住宅団地分譲事業

一般質問

質問議員 7名

宮川秀俊 茂木泰男 小瀬佳彦
塚原義昭 飯森茂孝 塚原利彦 峯村賢治

質問事項 (本号掲載以外のもの)

- 防災について
テレワークについて 宮川 秀俊
- 文化財としての善光寺街道の管理と活用について 小瀬 佳彦
- 新地方公会計制度について 塚原 義昭
- 「麻績村ゆりの木公園テレワークセンター」本格稼働に向けての村の本気度について
若者定住住宅の環境整備について 飯森 茂孝
- 指定管理施設「シェーンガルテンおみ」の運営状況について 塚原 利彦
- ふる里納税について
HDMシステムの維持管理について 峯村 賢治

行政懇談会について、出席者の推移は

出席率は15%程度である



宮川 秀俊 議員

答 各地区での出席者の推移はどの様になっているか。
問 昨年より出席率も高く、15%の方に出席いただいた。村内25地区で実施している意見要望として道路・河川砂防事業の推進・過疎、少子高齢化等の課題・生活環境や福祉施設の充実・学校に関する質問等である。

答 一度に集めることは大変難しい。皆さんの意見は色々なグループ、お祭りや地域の催しに案内された際にもお聞きしている。

問 多くの住民が参加できる対話集会は検討できなかっただけであります。

答 調査課長が会議録を作成し、翌日担当課に伝

答 想定したほど多くなかつたが様々な意見があつた。・一貫教育を今の計画に沿つて進めて欲しい。・先進校の視察をすべき。・学校統合が進んでいたのにできなくなつた理由は。・子供の意見を聞くべきだ。・ほほ結論が出たので当面は変えられないが、将来に向けて統合について話し合つてほしい。・筑北村との統合を早い時期に話し合うべきである。こういった意見が出た。

問 筑北村ではいつでも学校問題については門戸を開けているとのことだが、トップ会談をすべきではないか。

答 私どもはそう言つた話は聞いていない。私たちと一緒に学んだ方が良い環境になるのではないかと思っている。

「シェーンガルテンおみ・聖レイクサイド館」の指定管理者 技研サービスの運営状況は

指定管理料を含めた収支は約1100万円の赤字である

茂木 泰男 議員



問 シェーンガルテン
おみの指定管理者が技
研サービスに替わった
が運営状況は。

答 聖レイクサイド館
を含め平成29年度は指
定管理料を含めた収支
は約1100万円の赤
字だ。

問 昨年指定管理料は
約3000万円支出さ
れているが、用途は。

答 指定管理料がどの
施設に充当されている
のかこちらでは把握で
きない状態である。

問 集客力を高めるた
めのイベント開催や、
経営改善に向けた仕掛
けは。

答 村や観光協会のイ
ベント開催時の協力や
広報での呼びかけ、イ
ルミネーション点灯、
アイスキャンドル祭り、
ヒルクライムレース等

誘客に向けての努力を
している。

問 屋外でのバーベキ
ュー、ビアガーデン等
若者に人気があるイベ
ントの村の指導は。

答 指定管理は経営そ
のものを任せることで
あまり深く関わらない
が、こちらの希望を提
案している状況である。

問 聖高原の煙火イベ
ントの開催状況は。

答 今年で54回目の歴
史ある大会で天候にも
恵まれきれいな花火で
大変良かつたと思う。
夏山全体のイベントは
ヘラブナ釣りやソーラ
ーバイク充電ポイント
ツアーや自転車のヒルク
ライム大会等の開催で
聖高原の宣伝になつた。
見直しや花火業者選定
の見直しは。

問 煙火大会の日程の
見直しや花火業者選定
の見直しは。

答 統計的に天候の良
い14日は変えられない。
費用については寄附が
中心である。固定化し
ており、新規に業者選
定するとなると時間を
要す。近隣でも業者は
固定している。

小瀬 佳彦 議員



問 これまで何度か質
問してきた教育委員会
会議録のホームページ
上の公開が、8月より
実施された。あらため
て公開の意義を尋ねる。

答 情報公開の手段と
して非常に有効なもの
として捉えている。

問 宮田村では会議録
と合わせて資料も公開
している。さらなる情
報公開を積極的にお願
いしたい。

答 今後しつかり検討
していただきたい。

問 8月18日に麻績小
学校一年生の保護者と
教育委員会の意見交換
会が行われた。教育委
員の中では保護者が抱
える問題意識をどうよ
うに受け止めたのか。

答 一学年5人という
少人数学級に危機感を
感じている部分につい
ては、しっかりと受け
止めている。

保護者の皆さんは
中学に上がったときの
ことを大変心配されて
いたのではないか。3
年生が引退した後の筑
北中野球部の活動の現
状は。

問 この問題は広域で
考へるべきだ。組合立教
育委員会ではどのような
検討がなされている
のか。麻績は麻績、筑北
は筑北でいいという話
にはならない。合同部活
には、どう形を検討しては
できるだけ合同練
習、合同部活ができる
ような体制づくりをし
ていきたい。

答 できるだけ合同練
習、合同部活ができる
ような体制づくりをし
たい。

当初予算に無い数億円の基金積立金の財源は何か

各種事業の効率的な運用による余剰金・事業経費の節減・特別交付金等が財源となる



塚原 義昭 議員

問 29年度末基金残高
25億4千万円、前年比
4千万、直近3ヶ年で
3億円の増になつてい
る。また、基金取り崩
し分の積立も含めて毎
年数億円が基金へ支出
されている。当初予算
に無いこの財源は現状
の收支からどのように
確保しているのか。

答 財源は各種事業の
効率的な運用による余
剰金、事業経費の節減、
効率的な運用、特別交
付金等が財源となつて
いる。基金造成で特別
目的基金は今後の各課
の事業見込みを把握し
て積立を行つてている。
財政調整基金は18年頃
より交付税が毎年減少
傾向であるため、災害
対応や今後の財政需要
を見込み、計画的に積
立てを行つてている。



問 経費節減等により
毎年数億円のお金が基
金に変わつてること
は、当初予算の工夫に
よつて単年度事業の取
り組みが変わり、村民
の要望に対しての事業
展開も考えられると思
うが見解を。

答 村の主な財源は交付税であるが、予算編成は12月から始め翌年の2月にはほぼ確定する。しかし、交付税の確定は翌年の7月と年度末であり近年は交付税の減少もある中で各課の主要施策に基づき予算編成を行つてている。住民要望に対しては、9月の前年決算確定後道路維持費等に補正を行い対応している。

問 住民目線に立つた
行政運営を図るとなつ
てあるが取り組みは。

飯森 茂孝 議員

問 村内でのブロック
塀安全確認状況と緊急
要請に基づく学校施設
と通学路の安全点検調
査結果ならびに危機管
理体制の強化は。

答 ブロック塀等につ
いては既に準備を進め
ている。補助金制度等
も今準備を進めている。
教育委員会では学校と
連携を取りながら、学
校周辺や施設の調査を
実施してきている。学
校施設に関連するところ
には危険箇所は認め
られなかつたが、通学
路に利用している道路
沿いは、個人所有の部
分で調査が必要と思わ
れる。現時点では村内
全域についての確認は
済んでいない。

発生時には、初期対応
は地域住民でやつてい
かなければならない。
こういった意識を持つ
ことが今大事である。



問 現行基準に適合し
ない場合のブロック塀
撤去費用の補助金制度
の導入は。

答 災害の未然防止の
観点から近隣自治体の
動向も踏まえ、麻績村
でも補助制度の新設に
向けて現在検討中であ
る。

問 災害対策の水準を
高めるために、筑北村
と災害時協定を進める
時と考えるが村の方針
は。

答 筑北村との災害時
協定は平成17年に新た
に協定を結んでいる。
消防団は北部三村で毎
年連携している。

子育て支援について、保育園での3歳未満児の受け入れ体制は

待機児童は今のところ無いが、急な入所希望に対しては待っていただく事もある



塚原 利彦 議員

問 保育園での3歳未満児の受け入れ体制は。

答 スタッフの確保が非常に難しい。現在、0歳児が2名、1歳児が6名、2歳児が5名で、待機児童は今のところ無い。ただ急な入所希望には対応ができる。待機児童は今のところ無い。ただ急な入所希望には対応ができる。待つていただく事もある。

問 スタッフ確保が難しい原因は。

答 給料面では正規職員はそれほど低くはないと思うが、村内や近隣で探しても資格や勤務時間等で折り合いがつかない部分が多い。

問 夏休み等での開始時間の繰上げは、本年度は要望はないが、今後研究は進めていく。

また支援の必要な児童への対応は、支援員が事例等の研修に参加しており、要支援利用者の制限はしていない。

問 今年度の小学校一年生の保護者が、今後の学校生活に不安や危機感を持っているが、その気持ちにどう応えようか。

答 教育委員会としても同様に受け止めている。他校との交流や中学生での合同部活動も含め、少人数学級のメリットを最大限活用できるよう学校全体で取り組んでいきたい。

問 確認するが、今後筑北地域の学校統合が必要だという機運が高まつた時、「今となつてはもう無理」というような事はないか。

答 この地域の教育は一緒にやっていく方が効率的でよい教育環境になるので当然そうしていきたい。ただ今はそのタイミングではない。

竹林整備の申請方法は

区長申請をもって、機械の有効利用を



峯村 賢治 議員

問 竹林の整備申請は区長がするという点について間違いはないのか。

答 今まで区長申請で行っている。

問 当初は申請者が役場に出向いて申請しており、村のホームページ、また推進課のチラシにも個人・区長等団体の責任者の申請となつていてるが。

答 最初の竹粉の集積という観点から、処理等方法の変更に伴い、区長申請ということでお進めている。

問 ホームページの申請内容では誤解を招くのでは。

答 その点については直ちに修正する。

問 区長申請について各区長への周知は。

答 常にではないが、

区長会で説明している。

問 現状多くの耕作地を抱えている協力隊があるのか。

答 冬期間に対応するようしている。

問 高額な機械をもつと有効に使う考えはないのか。

答 出来る限り有効利用する計画で進めていきたい。



村民対話集会開催

第8回目となる村民対話集会を10月9日に開催した。今回は民生児童委員との対話集会で、民児協の定例会に合わせての開催となつた。

民児協の定例会で実施された研修（避難所運営ゲーム）からの参加となり、その後懇話会が行われ、活発な意見交換がなされた。



民児協の研修に参加

第69回東筑摩村議会議員大会が8月23日、朝日村において開催され、前年度大会議事項の処理状況の報告の後、各村から議案を提出し、協議の結果全議案採択することに決議された。当村からは、交通安全対策（国道403号本町～明治



飯森茂孝議員による要旨説明

町間・主要地方道丸子信州新線本町地区内の歩道設置についてを議案として提出し、飯森茂孝議員が趣旨説明をした。

歩車道が分離されていないこの二路線は医療機関、事業所、店舗、金融機関、小中学校、郵便局など多くの住民が利用するきわめて重要な生活道路であり、悲惨な交通事故等の起きないよう安全で安心して生活できる道路整備の充実を早急に促進されるよう強く要望した。決議された議題は、東筑摩郡村議会議長会において県及び県議会に要望する。

また、議事に先立ち小山議長による大会宣言がなされ、地方交付税制度の維持、地方行財政制度の構築をすべきであることを確認し決議した。

私たちはこんな活動をしています

8月

議会運営委員会

サマーナイトフェスティバル

成人式

東筑摩郡議長会臨時総会

国道403号道路整備期成同盟会県要望

森林・林業林産業活性化議員連盟総会

例月出納検査

決算意見書提出

松本地域正副議長懇話会

ふくしのつどい

東筑摩郡村議会議員大会

議会定例会

敬老会

サンライフおみ敬老会

麻績小学校運動会

筑北村・麻績村保健施設組合議会

安曇野松築広域環境施設組合議会

保育園運動会

東筑摩郡村議研修会

議会だより

編集後記

今年は豪雨、地震等で日本列島を自然災害が猛威を振るっています。

なぜ頻繁に発生するのか。何か問題を提起しているのか。

自然災害の発生は少ないといわれている村ですが、

9月に北海道で発生した地震は、未知の活断層が動いたとも言っているように、

大地震は地質に関係なくどこでも発生する意識を強く持つことが必要と言われています。

我々議員も2年目の活動に入りました。より安全安心な村に向けて検証していきます。

我ら議員も2年目の活動に入りました。より安全安心な村に向けて検証していきます。

編集委員

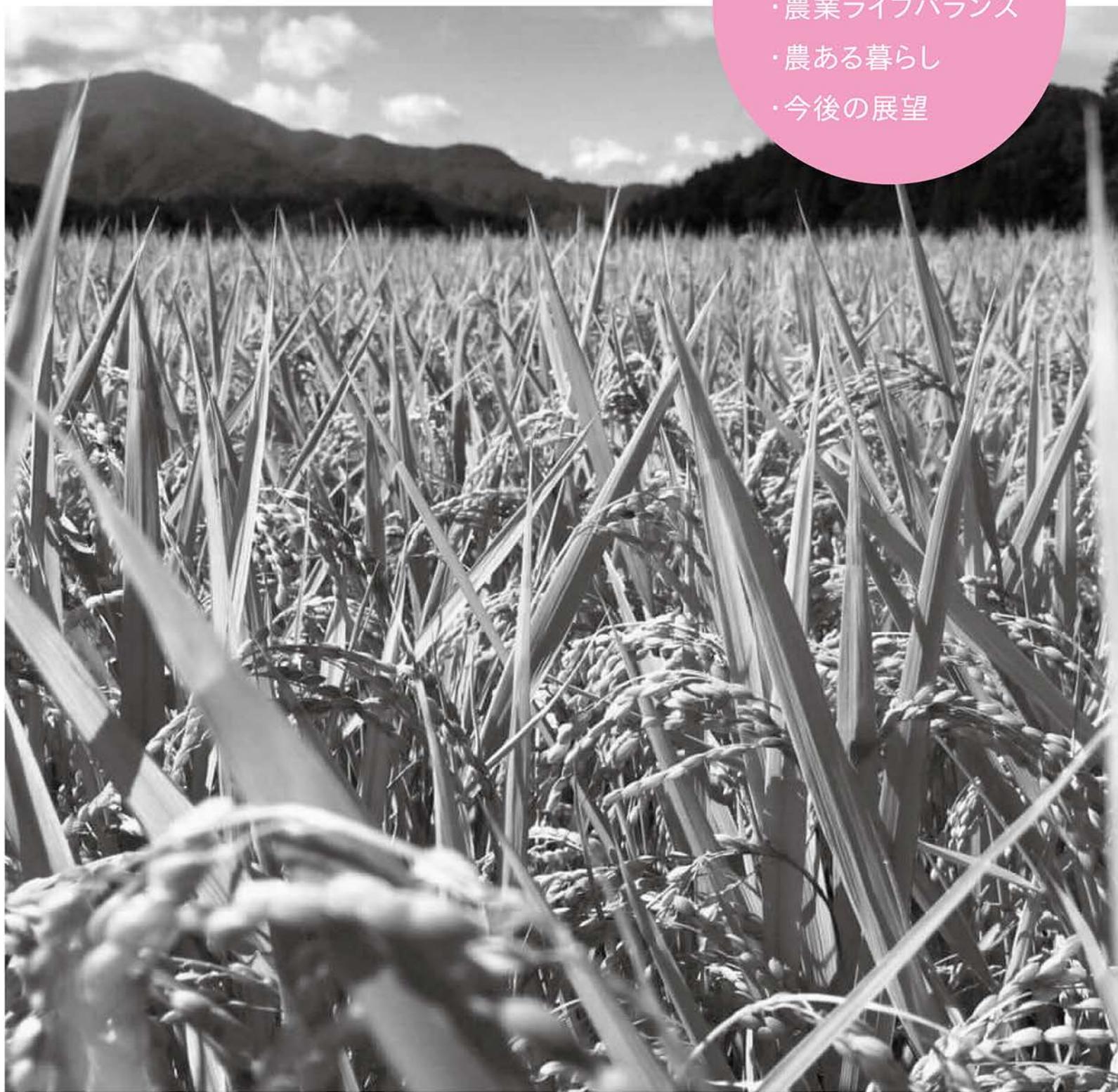
◎塙 原 義 昭
○小瀬 佳彦

小山 福 績
茂木 泰男

特集

農業と生きる 農業で生きる

- ・なぜこの麻績村で始めたのか
- ・農業ライフバランス
- ・農ある暮らし
- ・今後の展望



おみ 農業委員会だより

発行
麻績村農業委員会
編集
だより編集委員会
第48号

この村は農村である。だが、 食べていいける農村ではない。 今こそ転換期かもしない。

何やら可愛らしい名前の農業団体メンバー四人は全員が兼業農家です。食べる、歩く、見る、買う、遊びことで都会の楽しみを田舎の力にする、そんなOMIMOの活動内容について伺ってみた。

実際に、麻績村の農家は大半が兼業です。専業農家として食べていくのが難しいという現実を覆せないとしても、生活の柱になる収入を農業以外で賄う兼業農家の道があります。

農業ライフバランス 農あるくらし

発生した人脈から新しいアイデアやチャンスが生まれるので。

なぜこの麻績村で始めようと思ったのか

麻績村に生まれ育ち、現在も生活していると、農業のある暮らしはごく自然に日常のものとして存在しています。そして我々が受け継ぎ、次世代に残せるものは農業という考えがあります。さらには、個人よりも団体として活動する方が作業効率が上がるし様々なチャレンジも行えます。だから、OMIMOを作ったのは必然だったと思っています。

そもそもOMIMOの活動は、福島の子供たちのキャンプ受け入れや、田植え稻刈りなどの農業体験企画が始まりでした。都会の楽しみを田舎の力にする、つまり、村外の方との交流によって

いすれにしろ、農業収入を得る為には色々と多角的なチャレンジが必要ですし、実際に様々なチャレンジを行っていますので、OMIMOの活動が一つのモデルケースになれば良いと考えています。

いつでも水田や畑に戻せる状態にするのも大きな課題となっています。これに関しては国からの補助制度が無くなってしまうと維持が難しくなりますので、副業的に稼いで得た農業収入を使って設備投資を行うことで対応しています。

ただ、農家人口の高齢化に伴い農地の維持管理が難しくなっています。これに関しては国からの補助制度が無くなってしまうと維持が難しくなりますので、副業的に稼いで得た農業収入を使って設備投資を行うことで対応しています。

実際に、麻績村の農家は大半が兼業です。専業農家として食べていくのが難しいという現実を覆せないとしても、生活の柱になる収入を農業以外で賄う兼業農家の道があります。

今後の展望

麻績村の独自ブランドと言える日本酒の舞姫とはぜかけ米の流通販路を少しずつでも拡大していく。大量生産は難しいですが、ストーリー性を重視した製品としてうまくアピールしながら、いすれはスーパーなどでも販売できればいいですね。いざれにしろ、焦ることなくまずはチャレンジ、それで駄目だつたら方針を変えて別のチャレンジを行い、ゆっくりでも確実にOMIMOの活動を続けていきたいです。



Interview

麻績サポーター OMIMO

プロフィール

麻績村市野川地区の荒廃した棚田を復活させるプロジェクト「大峠を世に出す会」の活動を経て、都会の楽しみを田舎の力にする!をスローガンに集ったメンバー四人で構成される農業企画集団、代表であるYRMシステム社長の久保田芳永氏(57歳)を含め、全員が兼業農家。

田植え、稻刈りなどの農業体験やキャンプ活動。また、地酒の原料となる酒米や特産品であるスペルト小麦など、麻績村で栽培した農作物の販売を通じて都会との交流を深めると共に、麻績村の情報を発信するサイト「おみも」を運営している。

麻績村ポータルサイト おみも
<http://www.omimo.info>



信州舞姫

扇ラベル純米吟醸はぜかけ米仕込み55

長野県筑摩郡の麻績村で天日乾燥したはぜかけ米で作った日本酒です。華やかで上品な扇がデザインされたラベルとフレッシュですっきりした味わいは、普段日本酒を嗜まない女性にもお薦め。



次代の農業を見据える。自給自足を基にした農のある暮らしで地域に貢献する。



Interview

ふたごや農園 白木和真さん

プロフィール

愛知県一宮市出身。岐阜県で有機農業を営んでいたが、麻績村地域おこし協力隊として2013年に家族で移住・着任。麻績村の暮らしに魅了され、三年後の任期満了に伴う退職後、麻績村にてふたごや農園を開業。主に無農薬、無化学肥料の有機栽培野菜を扱うインターネット販売を行い、主力商品であるスペルト小麦は国内でも希少な古代穀物として人気が高い。

自然豊かな麻績村で自給自足を基盤にした農のある暮らしを営みつつ、自宅の古民家を利用した農業民宿を行っており、村外の人々と交流することによって地域おこしや村の活性化に貢献している。

ふたごや農園　暮らしからデモクラシー
<http://futagoya.org>



スペルト小麦

現在広く利用されている普通小麦の原種にあたる古代穀物。強健な植物で、化学肥料や殺虫剤などの薬剤を殆ど使用することなく栽培が可能。

現状では国内栽培量が極めて少ないが、栄養豊富で小麦アレルギーが発症しにくい穀物として注目されている。



双子を含む三人の娘さんと共に暮らしながら、自然豊かな麻績村で農業を営むご夫婦の農園の名前は「ふたごや農園」と言います。元々は県外出身の一家ですが、今ではすっかり麻績村の住人として農園を運営している、そんなふたごや農園の活動について伺つてみました。

農業の収入だけで生活するのは難しいので、農閑期の山仕事や福祉の仕事などと兼業しながら、更に住居として紹介していた古民家が理想に近かったのが決め手になりました。

自然が豊かな里山で子育てをしながら、自分の手で食べるものを作り出す自給自足的な農業生활に魅力を感じました。その際、麻績村の協力体制やーチーン募集内容、更に何度も繰り返した下見の際に村の方の対応が親身で好印象だったこと、更に住居として紹介していた古民家が理想に近かったのが決め手になりました。

なぜこの麻績村で始めようと思ったのか

農を基盤にした生活は、自分で作った安心できる農作物を食べて暮らすこともあります。また、娘がアトピーやアレルギーを持つ親として、無農薬、無化学肥料の自然栽培で育った野菜を食べさせたいという思いもあります。更に現在の主力商品である古代穀物であるスペルト小麦は、暮らしを楽しんでいきたいです。

うな仕組みを模索しています。お金は確かに必要ですが、それだけの為に働くのではなく「稼ぎ」と「務め」と「暮らし」のバランスを上手くとりながら、田舎暮らしを楽しんでいきたいです。

今後の展望

栄養豊富で小麦アレルギーが発症しにくく、国内での栽培農家が少なく希少性が高いので、生産量の拡大が重要な課題となります。

麻績村の豊かな地域資源を活かして、ゆくゆくは自給自足を基盤にした農のある暮らしを楽しめるようになりたいと考えています。

農業ライフバランス

工所の設立、農産物の六次産業化を行って経営の安定化を図ります。

また、地域交流の一環として農業民宿を行い、様々な国の人たちにも農のある暮らしを体験してもらいたいと考えています。



牧場を通して社会に関わり なりたい。



Interview

清水牧場 清水 大さん

プロフィール

1990年2月24日生 25歳
長野県東筑摩郡 麻績村女渕 出身

父清水達也氏の経営する清水牧場から経営の一部の移譲を受け、平成30年9月より肉用牛肥育部門で農業経営を開始。麻績村で5人目の新規就農者となる。

農場HACCPの理念を導入した農業経営により安心安全な信州プレミアム牛肉の出荷を目指す。

また、5年後までに、現在長野県からの出荷がない東京市場への新規販路開拓にチャレンジする。



代々続いている清水牧場は、自分が子どもの頃は楽しい遊び場でしたが、現在は社会的にも経済的にも自らを支えてくれる大切な場所として捉えています。

この牧場を通して、畜産によって社会と関わり貢献したい。また、牧場を営むことで家族との生活を支えていくようになりたいと考えています。

今後の展望について
肉牛肥育の経営基盤作りと共に、常に最新の肥育技術の勉強を行いながら、より良い肉牛を育てていくことに力を注ぎます。

清水牧場は、麻績村の女渕地区にあり、現在300頭の黒毛和牛を飼育しております。麻績村の澄み切った空気と清らかな水、そして牧場主の清水さんのたっぷりの愛情で育った黒毛和牛は、主に京都や大阪などの関西地方に出荷されており、その肉質の評判は高く、高級焼肉店や大手デパート内の専門店などに流通しております。

アルペンスキーヤーという経歴を持つ若き牧場主、清水大人に農業で生きるをテーマにお話を伺ってみました。

農業を営むということは、技術者と経営者の2つの役割を一手に担うということになると、思っています。肉牛肥育の技術について、また、農業で生活を支えるというプランニングについて、常に興味と関心を持って暮らしの楽しみに出来ればと思っています。

なぜこの麻績村で始めようと思ったのか



農業を営むことは、仕事なので、日々の生活に無理なく仕事を組み込んでいくのが最終的な課題になってくると考えています。その為の環境やシステム作りに恵を絞りながら学びつつ、牧場経営に活かしていきたいです。

農業ライフバランス

肉牛肥育は季節を問わない

仕事なので、日々の生活に無理なく仕事を組み込んでいく

のが最終的な課題になってしまっていると想っています。その為の環境やシステム作りに恵を

絞りながら学びつつ、牧場経営に活かしていきたいです。

田畠の草刈り作業を通して、遊休農地を減らすことで自分の住む土地を守りたい。



遊休農地を草刈りする活動を通して土地を守る

自分の住む高地区には、遊休農地と言われる田畠が多くあります。現状を少しでも変えようと、有志にて活動中の我ら、「愛農組合」で今年は2ヘクタール分の遊休農地に蕎麦を蒔きました。各自仕事の合間に分担作業をする為、全員集合で作業する事が難しく、草刈り作業に時間がかかりましたが、無事収穫までに至りました。

個人としては改めて草刈りの大変さと大変さを体感して、勉強になりました。

課題は毎年出て来ますが、これからも「わが土地を守る」をスローガンに皆で頑張って行きたいと思います。



GWを利用して、農業委員会総出での種植作業



立派に育った芝生



今年は60シートの配布となりました



多くの方に芝生シートを配布しました

農業委員会による 芝生の播種作業と配布

■2018年 5月6日(日)、6月29日(金)



B判定を受けた荒廃農地 木が自生し復旧が困難



A判定の荒廃農地



そば畑に再生された荒廃農地



2018年度 農地パトロール

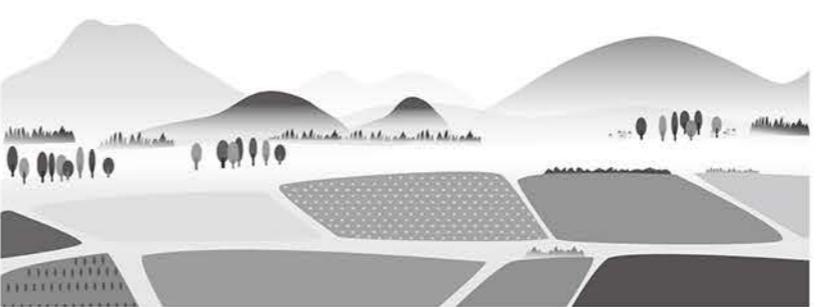
■2018年 9月実施

農業委員会では、毎年村内全域の農地パトロール（農地利用状況調査）を行っています。優良農地の確保・保全と遊休農地・違反転用等の発生を未然に防ぐため、農業委員が村内を巡回し利用状況を調査しました。再生利用が可能な荒廃農地(A判定)と再生利用が困難な荒廃農地(B判定)をリスト化し、農地利用の最適化を行います。



荒廃した遊休農地(A)と草刈りを行った後(B)。

遊休農地を放置すると雑草や害虫による被害が懸念されるため、早急な対策が必要となります。



Interview

農業委員会 三浦 充



農家の思いを伝える
農業・農村の「未来」を
ともに考えます。

全国農業新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

週刊 月4回 金曜日発行

月700円 年8,400円 (消費税込)

購読のお申込みは、農業委員会までお気軽にご連絡ください。

発行 全国農業会議所 <https://www.nca.or.jp/shinbun/>



(沢木委員)
その価値への課題は様々ある
が、多方面から色々な人が協力
しあい課題に取り組めば少しず
つ改善していくのではないだろ
うか。

お金を出せば何でも買える。
しかし、その場で食べる味とは
全く違い、甘さや美味しさなど
はお金で買えない価値がある。
数量や時間であったり、様々な
要因で、手間をかけたりした商
品であったとしても一番よい状
態で都市部にまでなかなか届け
れない。その価値を届けること
ができれば野菜や果物お米な
どの美味しさの認識もかわるだ
ろう。

編集後記

農業委員会からの お知らせ

- 農地法第3条、第4条、第5条の申請の締切は、毎月15日です。（15日が土日祝の場合は次の平日）
- 農地パトロール（農地利用状況調査）の結果を受け、今後「農地利用意向調査」を実施する予定です。
- 定例会は毎月下旬（25日前後）に開催しております。

全國農業者年金

しっかり積み立て、安心で豊かな老後を
国が支える。大きな安心!

3つの加入要件

- ・20歳以上60歳未満
- ・国民年金第1号被保険者
- ・年間60日以上農業に従事

6つのメリット！

1. 少子高齢化に強い「積立方式」
2. 自由な保険料設定(月額2万円～6万7千円)
3. 終身年金で80歳まで保証
4. 税制優遇(全額社会保険料控除の対象)
5. 国庫補助(40歳未満の認定農業者・新規就農者等)
6. 国民年金の付加年金に加入(受給開始後2年で回収可能)

資料請求はホームページから <https://www.nounen.go.jp/>



平成30年度 生坂村・麻績村・筑北村 農業委員会協議会研修会

■ 2018年 10月9日(火)



生坂村営やまなみ荘にて、農業委員会協議会研修会が開催されました。講師に生坂村活性化施設いくさかの郷(道の駅)駅長、松澤氏を迎え、今年9月に新設されたいくさかの郷を通して生坂村の発展と展望をお話しいただきました。

その後姫野農園にてぶどう狩りを体験し、いくさかの郷施設内の設備などの視察を行いました。



第20回 月の里収穫祭

■ 2018年 10月14日(日)

シェーンガルテンおみで開催された月の里収穫祭は、晴天に恵まれた当日は多くの方が訪問されました。様々な催しが行われ、大変賑わっておりました。

農業委員会では今年も餅の販売を行いました。餅つきのイベントでは沢山の子どもたちに参加していただきました。

村の出来事



おみっこ元気くらぶ 麻績キャンプ2018



麻績小学校4年生社会科見学
(村内の上下水道施設見学)



麻績保育園カレー会



敬老会



麻績保育園遠足